

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月1日

事業所名 なないろ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		基準に基づいている。	
	2 職員の配置数は適切である	5		基準に基づき配置している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5			
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		全職員が共通認識をもてるように努めている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			4月開所の為、保護者向け評価をするのは今回が初めてである。保護者評価による意向等を参考により良い支援を提供できるようにしていく。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5			4月開所の為、今回が初めてである。ホームページ等で評価結果を公表していく。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5			今後、第3者委員会の設置も検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		定期的に事業所内研修を実施。	外部研修にも参加していけるようにしていく。
適切な 支援の 提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		専門職員による検査結果やプロフィールシートを使用。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5		意見を出し合いながら計画している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		運動、製作、音楽など様々な活動を実施。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5		集団活動とは別に個々の発達状況に応じて個別活動も実施。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎朝のミーティングで1日にの流れを共有している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		送迎の合間等の隙間時間にも振り返り等を行うようにしている。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5		ケア記録や気になることがあれば情報共有している。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5				

関係機関 関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		管理者・児童発達支援管理責任者が出席している。		
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			保護者を通して情報共有している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5			該当児の利用がない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5				
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		5			該当児の利用がない。
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5			担当者会議棟で連携を図っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5				公園遊びで一緒に遊ぶ機会はあるが定期的に交流する活動の企画はできていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		5			今後、参加していけるように改善していく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			毎日の送迎時や連絡帳で情報共有している。	
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5				相談に対しての助言は行っているが、ペアレント・トレーニングは行っていない。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			利用契約時に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			可能な限りその日のうちに対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		5			今後、保護者同士が交流できるプログラムを検討していく。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			利用契約時に説明し、早急に対応するように心掛けている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5			インスタグラムで活動の様子を発信している。	インスタグラムでの情報発信を把握されていない保護者もいらっしゃるため改めて周知していく。
	35	個人情報に十分注意している	5				
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5			地域行事等への参加も検討していく。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		保護者向けにマニュアルを配布していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		避難訓練を実施しているが毎月の実施はできていない。あらゆる災害を想定して毎月実施していけるように改善していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	定期的に研修を実施している。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	利用契約時に必ず確認している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		